

『現代女性とキャリア』編集規定

(2023.8.7 委員会決定)

1. 本誌は日本女子大学現代女性キャリア研究所の機関誌であって、原則として年1回発行とする。
2. 本誌の編集は編集委員会ならびに編集委員会事務局によって行う。
3. 本誌は原則として、女性とキャリアに関する研究発表の場とする。この場合のキャリアとは職業経歴だけでなく、社会の中での女性の「生き方」としてとらえることとする。本誌では、投稿原稿（論文および研究ノート）、編集委員会による依頼原稿（特集、書評、文献紹介、寄稿論文、その他）等を掲載するものとする。
4. 原稿の作成は、別途定める執筆要項に従うものとする。また投稿は、別途定める投稿規程にもとづいて行うものとする。
5. 投稿原稿の採否は、所定の査読手順に従い、編集委員会において決定する。
6. 編集委員会は、依頼原稿の執筆者を決定して依頼を行い、執筆された原稿の掲載可否を決定する。
7. 書評および文献紹介の対象となりうる図書は、編集委員会が女性とキャリアに関する研究に対して有意義と認めるものとする。
8. 編集委員会は、掲載予定の原稿について、本誌編集方針に則って、漢字・平仮名表記の別など、多少の原稿整理をすることができる。
9. 論文の掲載順序は編集委員会が決定する。
10. 本誌に掲載された論文の著作権はすべて本研究所に帰属し、本研究所ホームページ及び国立情報学研究所（CiNii）、日本女子大学学術情報リポジトリ上で電子化・公開される。
11. 本誌を無断で複製あるいは転載することを禁ずる。

『現代女性とキャリア』投稿規定

(2011.10.25 委員会決定)

(2017.6.30 改訂)

(2023.8.7 改訂)

1. 投稿は女性とキャリアに関する研究論文及び研究ノートとする。この場合のキャリアとは職業経歴だけでなく、社会の中での女性の「生き方」としてとらえることとする。研究ノートは、論文に準ずるもので、研究上の問題提起、研究プロジェクトの経過報告、他の著書・論文への批判・反論、外国書の紹介・批判などをテーマとする。
2. 投稿資格は問わない。
3. 同一号に複数の論文等（共著を含む）を投稿することはできない。
4. 投稿原稿は投稿規定を満たした未発表のものに限る。ただし、学会等で口頭発表したものについては、その限りではない。また、他誌との二重投稿は認めない。
5. 投稿にあたっては、別途定める「執筆要項」に従って原稿を作成し、体裁を整え、編集委員会事務局（riwac-ed ☆ fc.jwu.ac.jp ☆→@）にメール添付により2月末日までに

送付する。期日までに送付されなかった原稿、執筆要項に定められた字数等の制限を超えた原稿は一切受理しない。編集委員会事務局は原稿受付後、1週間以内に受付した旨を連絡するので、連絡が来ない場合は、投稿者は自身の責任において編集委員会事務局に確認する。

6. 投稿の際には、必要事項を記入した「投稿申込書」を必ず添付する。

<投稿申込書記載項目>

①氏名（ふりがな）、ローマ字表記、②住所・電話番号、③所属・職名、④論文のタイトル、⑤投稿の種別（論文／研究ノート）、⑥電子メールアドレス

7. 掲載を認められた投稿者は、指示にしたがって修正したうえ、完成原稿をメールに添付し、指定した期日までに提出する。完成原稿には、執筆者名、所属などを記載する。

8. 投稿論文の査読は、著者名等を匿名にして行っている。文献等の表記の際には、匿名にすべき箇所が最小限ですむよう、本人の著であっても、「筆者」「拙著」等とせず、著者名で表記する。

9. 本規程の変更は、編集委員会の議を経ることを要する。

『現代女性とキャリア』執筆要項

(2011.10.25 委員会決定)

(2017.6.30 改訂)

(2023.8.7 改訂)

1. 執筆の形式

(1) 原稿は、A4判縦置き・横書き、40字×40行で作成し、フォントは10.5明朝（章・節・項はゴシック）、MSWord形式およびPDF形式のファイル両方をメール添付にて提出する。（縦書きを希望する場合は要相談）。

(2) 論文及び研究ノートは、1) タイトル、2) 英文タイトル、3) 氏名、下にローマ字表記、4) 英文要旨（200語程度）、5) 英語キーワード3つ（日本語訳付）、6) 本文、図表等、7) 文末注、8) 文献、9) 所属、の順に構成し、総ページ数を論文は12ページ以内、研究ノートは10ページ以内とする。

2. 本文

(1) 本文中の見出しは以下の順でランクを統一する。

1. }
(1) } 数字：全角
1) }

(2) 年号は西暦表記を基本とする。

ただし、必要に応じて「昭和50年代」などの和暦表記を用いる。

(3) アラビア数字やアルファベットは半角にする。

(4) () 「」 『』 等のかっこは全角にする。

(5) 句点と句読点は「、」「。」を用いることとする（英文要旨には「,」「.」を用いる）。

3. 図表等

(1) 図・表等を挿入する場合、原稿の該当箇所に挿入もしくは添付する。

(2) 他の著作物からの引用は、出典を明記し、必要に応じて著作権保持者から許可を得る。

(3) 図・表は、それぞれに通し番号をつけ、タイトルをつける。

例 図1、表1

図-1、表-1

4. 注記、文献

(1) 注記は該当箇所の右肩に通し番号を付し、注は本文末尾に一括する。

(2) 引用・文献は、原則として次の方式によって記載する。

- ① 文献を一括してアルファベット順に並べたリストを作成し、末尾に付す。
- ② 文献注は、原則として文献リストへの参照指示という形で記す。すなわち、本文や注の該当箇所に、(著者名(姓) 西暦発行年「:」 ページ)を記して、文献リストの該当文献の参照を指示する形式をとる。
- ③ 文献記載および配列の方法(形式)は指定しないが、論文の中で統一する。

例・書籍: 著者名, 出版年, 『タイトル-サブタイトル』 出版社名.

・雑誌論文: 著者名, 出版年, 「論文名」『掲載誌名』 巻(号), 掲載ページ.

・編書論文: 論文著者名, 出版年, 「論文名」 編者名『編書タイトル-サブタイトル』 出版社名, 掲載ページ.

・翻訳書: 著者ファミリーネーム, ファーストネーム他, 出版年, タイトル: サブタイトル, 出版社名. (= 出版年, 訳者名『訳書タイトル-サブタイトル』 出版社名)

・欧文書籍: 著者ファミリーネーム, ファーストネーム他, 出版年, タイトル: サブタイトル, 出版社.

・欧文雑誌論文: 著者ファミリーネーム, ファーストネーム他, 出版年, “論文タイトル: サブタイトル”, 掲載誌タイトル: サブタイトル, 巻(号), 掲載ページ.

④ 欧文書籍ならびに欧文雑誌論文の場合は、書名(タイトル: サブタイトル)・雑誌名(掲載誌タイトル: サブタイトル)をイタリック体にする。

⑤ 同一著者が同一年に発行した複数の文献は、発行年を 2009a、2009b のように表記して区別する。